

「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」について

国土交通省四国地方整備局は、土器川水系の国管理区間において、今後概ね30年間で実施する河川整備の目標と内容についてまとめた「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」を平成24年9月に策定し、河川整備等を実施しています。

土器川水系河川整備計画の基本理念

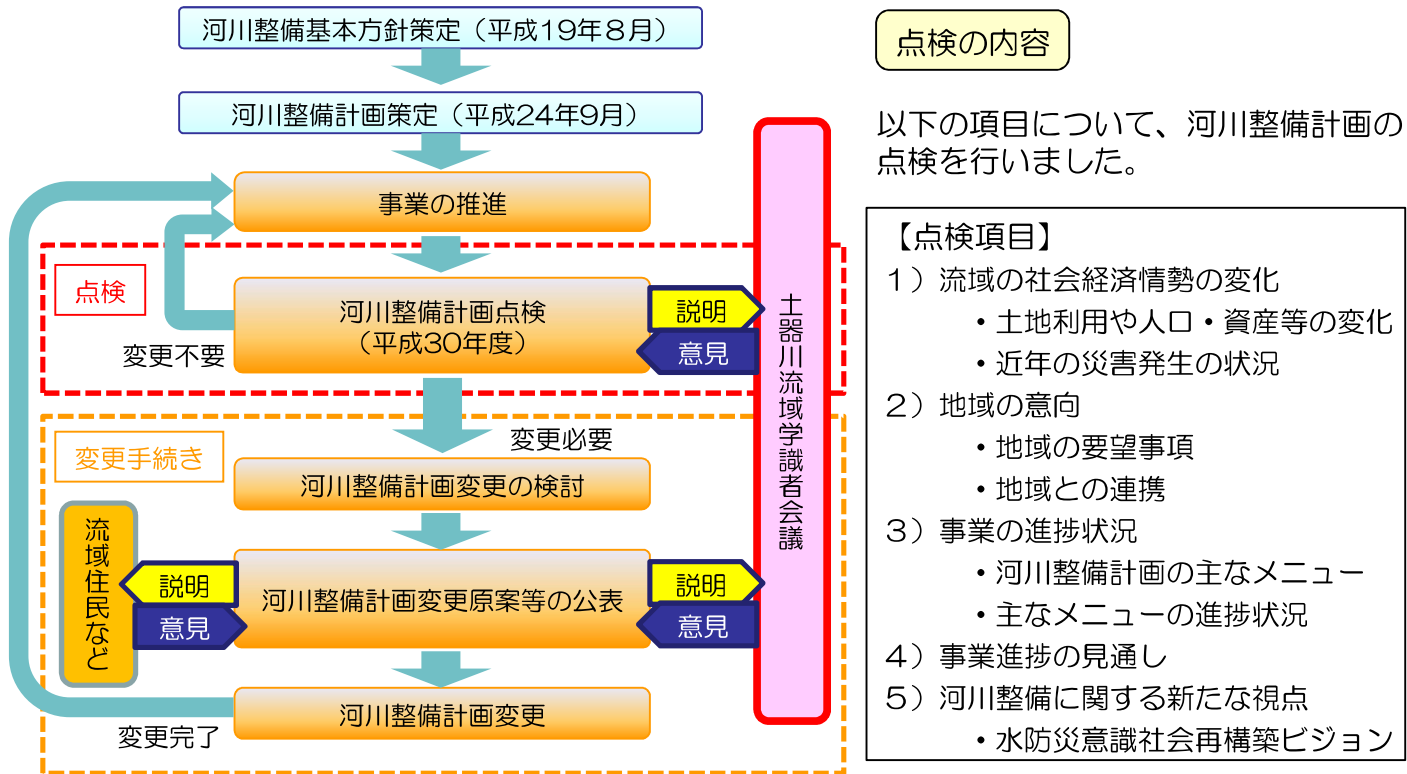
- 安全で、安心できる川づくり
- 地域と一体となった土器川の河川環境の保全
- 人々が憩い・楽しみ・学べる川づくり

関係機関や地域住民との情報の共有、連携の強化を図りつつ、治水・利水・環境上のさまざまな課題について調和を図りながら、各施策を総合的に実施する。

「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」の点検について

点検の目的 河川整備計画は当面の具体的な河川整備に関する事項を定めたものであり、流域の社会経済情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるように、適宜その内容について点検を行うものです。

点検の流れ 河川整備計画策定以降、計画に基づき河川整備等を実施していますが、河川整備の進捗、計画を変更しうる新たな視点を有するかを適宜検討し、河川整備計画の点検を実施するとともに、必要に応じて河川整備計画を変更することとなっています。



点検の内容

以下の項目について、河川整備計画の点検を行いました。

【点検項目】

- 1) 流域の社会経済情勢の変化
 - ・土地利用や人口・資産等の変化
 - ・近年の災害発生状況
- 2) 地域の意向
 - ・地域の要望事項
 - ・地域との連携
- 3) 事業の進捗状況
 - ・河川整備計画の主なメニュー
 - ・主なメニューの進捗状況
- 4) 事業進捗の見通し
- 5) 河川整備に関する新たな視点
 - ・水防災意識社会再構築ビジョン

「土器川水系河川整備計画」および「点検結果」に関する情報については、香川河川国道事務所ホームページのバナーよりアクセスして下さい。



土器川リバーキーパーズに関するお問合せは

国土交通省四国地方整備局 香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>
 〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
 TEL : 087-821-1619(工務第一課直通) FAX : 087-821-1713



まだまだ寒い冬が続きますが、リバーキーパーズの皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。暖かい春までもう少しです。体調に気を付けてお過ごしください。今回は、「土器川水系河川整備計画の点検」についてお知らせします。

キーワード：「土器川水系河川整備計画」の点検

◆「土器川流域学識者会議」を開催しました

今後概ね30年間の具体的な河川整備の内容を示す「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」が平成24年9月に策定して以降、6年余りが経過しました。

国土交通省四国地方整備局では、同計画について、学識経験者で構成される「土器川流域学識者会議」を平成30年12月17日に開催し、河川整備の進捗や河川整備に関する新たな視点等について、点検を実施しました。

会議の結果、「現行の土器川水系河川整備計画に基づき、今後も河川整備事業を継続することにより」とのご意見をいただきました。



土器川流域学識者会議 委員名簿 (五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	所属等
石塚 正秀	河川工学、水質	香川大学 創造工学部 建築・都市環境コース 准教授
角道 弘文	農業水利	香川大学 創造工学部 建築・都市環境コース 教授
金子 之史	生物	香川大学 名誉教授 NPO法人 みんなでつくる自然史博物館・香川 代表者
◎白木 渡	防災(水防災)	香川大学 特任教授 副学長
西成 典久	都市計画・景観デザイン	香川大学 経済学部 教授
○長谷川 修一	防災(地盤工学)	香川大学 創造工学部 教授 学部長
増田 拓朗	地域文化	香川大学 名誉教授 放送大学 客員教授

平成30年度 第1回 土器川流域学識者会議
 開催日時：平成30年12月17日(月)

10:00~12:00

開催場所：綾歌総合文化会館
 アイレックス(小ホール)

※第1回土器川流域学識者会議は、石塚委員が所用により欠席となりました。

◎：議長 ○：議長代理

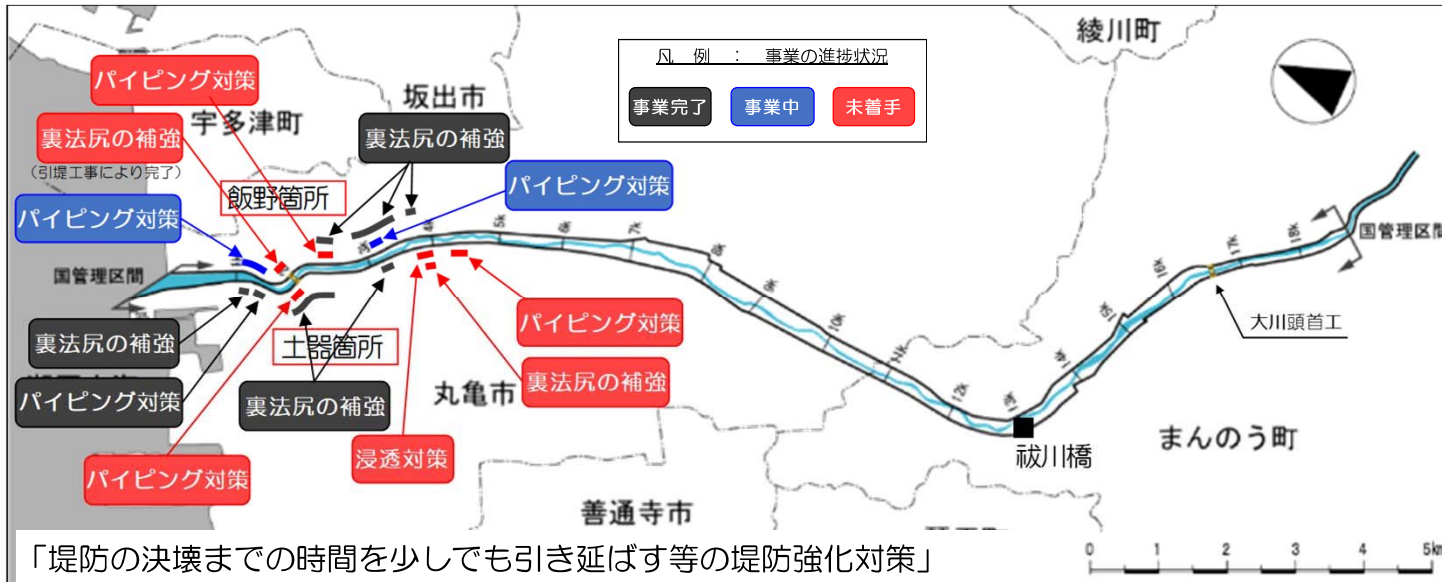
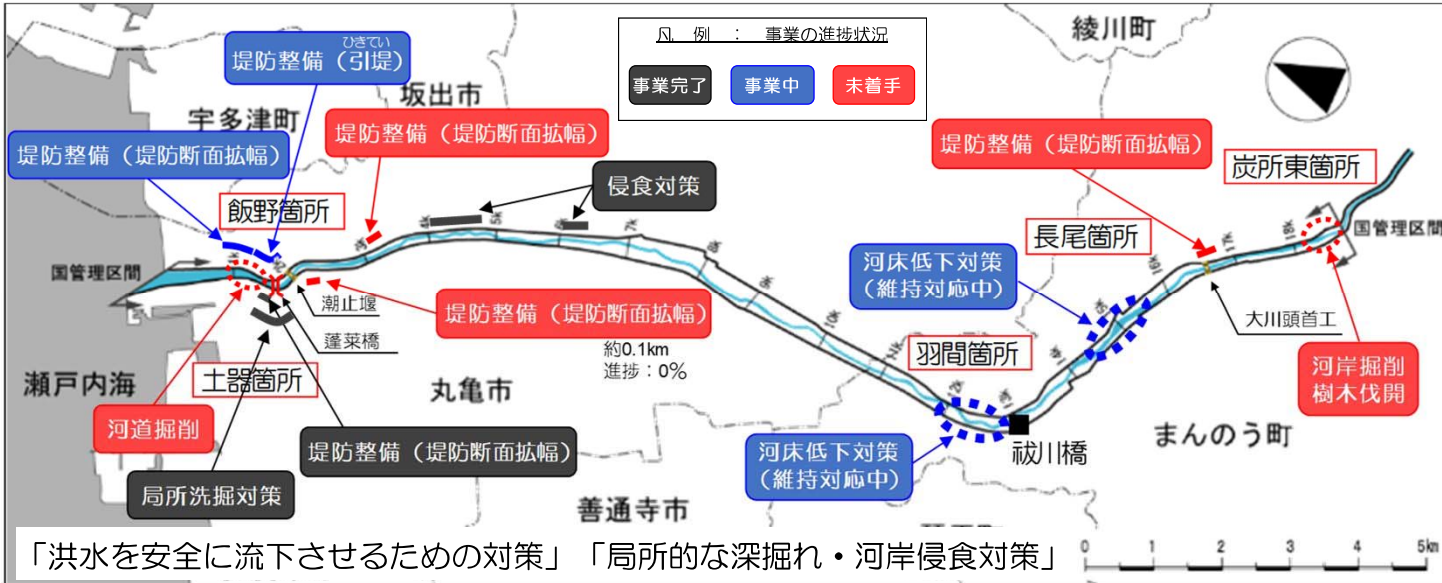
「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」の点検結果について

「流域の社会経済情勢の変化」、「地域の意向」

- ▶ 大きな地域開発や沿川市町の人口・資産に大きな変化は見られず、河川整備計画の治水目標を超過する洪水は発生していません。
- ▶ 「土器川改修期成同盟会」より、**継続して河川整備の要望を受ける**とともに、河川愛護モニターや関係団体等と連携し、**地域の取り組みと連携**した住民参加型の河川管理を推進しています。

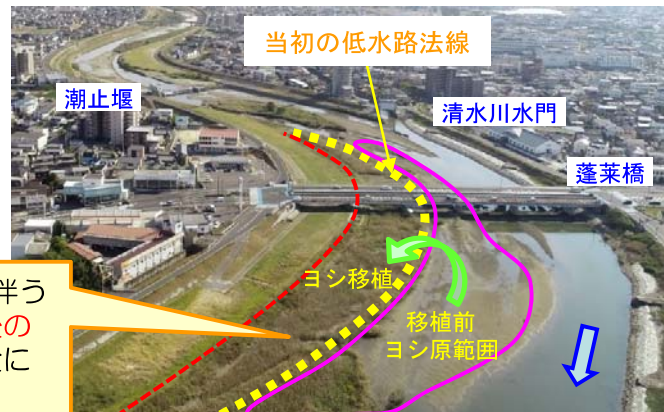
「治水に関する河川整備」の進捗状況

- ▶ 河川整備計画に位置付けられた治水対策に関わる施策を**計画的に推進**しています。



「河川環境の整備と保全」の進捗状況

- ▶ 河川巡視や河川水辺の国勢調査等を通じて、**モニタリングを継続**しています。
- ▶ 河川工事の際には、**河川環境の保全への配慮を実施**し、工事後のモニタリングを継続しています。



飯野箇所（1k/6付近）の局所洗掘対策に伴う右岸河川敷暫定掘削において、**ヨシ移植後のヨシ原の再生**を確認しており、今後も保全に努めます。

「河川の維持管理」、「危機管理体制の整備」の進捗状況

- ▶ 河川巡視や機器の点検等による**河道や施設の状態把握の点検**を継続して実施し、必要に応じて**適切な補修等の対応を実施**し、河川の維持管理を継続しています。
- ▶ 「水防災意識社会再構築ビジョン」を受けて、平成28年8月に策定した「**土器川の減災に係る取組方針**」の**推進**により、危機管理体制の整備を図っています。



地域住民と河川管理者が協働して河川利用・再生を促進する取り組みとして、「ボランティア伐採（伐採体験）」、「公募伐採」を実施しています



高松地方气象台と共同で洪水予報を実施しています

「事業進捗の見通し」

- ▶ 治水安全度の上下流バランス等の観点から、資産が集積し、治水安全度が低い**下流部から事業を実施**しており、**今後、上流部の治水対策を推進**していきます。

「河川整備に関する新たな視点」

- ▶ 土器川水系河川整備計画策定（平成24年9月）以降の、**全国的に頻発する甚大な災害発生状況**や、土器川における**課題に対する取り組み状況**を踏まえ、“新たな視点”として右記の項目を設定し推進しています。

【新たな視点】
水防災意識社会再構築ビジョンにおける「土器川の減災に係る取組方針」
◆ 河川管理者、県、沿川3市4町等からなる「土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立（H28.6.1）
◆ 取組の達成目標は、土器川で発生しうる大規模水害に対し「犠牲者ゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

委員からの主なご意見

- 今後も、現在の河川整備計画に基づき、河川整備事業を継続して進めていくことでよい。
- 現在の治水対策は、段階的な目標に対する整備途上であり、河川整備計画の治水目標を超える洪水が起こり得ることを地域に周知する必要がある。
- 土器川の歴史や現状の問題等を地域住民に周知して関心を持ってもらうとともに、様々な関係機関（自治体、団体、大学等）と連携し、皆で知恵を出し合って解決していくとよい。
- 治水や防災など部分的なハード対策の観点だけではなく、文化的あるいは環境的な面からも土器川の全体を捉えて、トータルのマネジメントの観点からも、今後の河川整備計画の点検、事業の推進について検討していただきたい。

今後の方針

- 今後も、現行の「土器川水系河川整備計画【国管理区間】」に基づき、**河川整備事業を継続して実施**していきます。
- 「水防災意識社会再構築ビジョン（水ビジョン）」に基づく「土器川の減災に係る取組方針」についても、関係機関と連携し、減災のためのハード対策とソフト対策を一体的・計画的に継続して推進していきます。